

憲法フェスティバル

今年のテーマ

今こそ憲法

～新しい戦前にしないために～

講演「日本の近代と二つの憲法」(13:05～)

歴史研究者(日本近現代史)
加藤 陽子



講演・対談「戦争を回避する道がある」(15:35～)

元内閣官房副長官補
柳澤 協二



お楽しみコーナー 音楽 (14:55～)

シンガーソングライター
小室 等



新外交イニシアティブ(ND)代表・弁護士
猿田 佐世

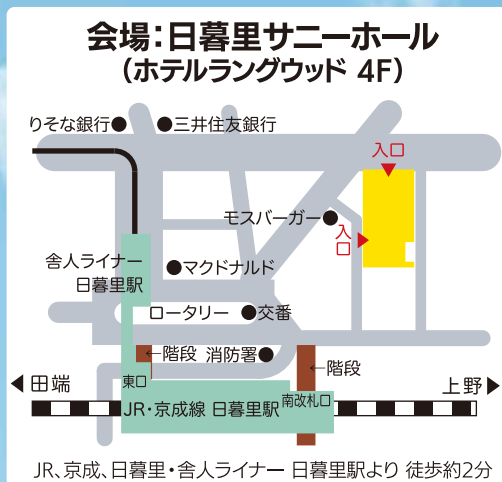


YouTube配信を行います。詳しくは下記のFacebookページをご覧ください

2024年 **6月1日(土)** 開場:12:30 開演:13:00 終演:17:10(予定)

参加券:前売1,800円/当日2,300円
障がい者1,000円(付添人1名まで無料) 大学生以下無料

- ★手話通訳がつかます(東京手話通訳等派遣センター)
- ★ヒアリンググループをご希望の方は事前にお申し出ください
- ★保育スペースがあります(希望される方は前もってご連絡ください)
- ★車いすでご参加の方は事前にお申し出ください



憲法フェスティバル実行委員会

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-7-2
ステージビル17階 1706号
南北法律事務所気付
TEL/FAX 03-5213-4151

憲フェスWebページ

<http://www.kenfes.com/>

憲フェスFacebookページ

<https://www.facebook.com/KenpouFestival/>

一昨年の暮れ、タモリさんは来年がどんな年になるかという質問に対し、「新しい戦前になるんじゃないですか」と発言しました。この言葉が話題となったのは、多くの人が漠然と感じている不安を指摘したからだと思います。

果たして2023年は、国際的にはロシア・ウクライナの戦争は終わりが見えない状況が続き、10月にはイスラエルによるガザ侵攻が始まりました。国内においては唐突な防衛費倍増の発言を当然の前提とするかのように、防衛予算の増額、トマホークなど他国を攻撃できる兵器の装備、南西諸島への基地建設などが進みます。国の政策だけではなく、「台湾有事」等の喧伝のもと、国民意識の中にも軍事化を否定しきれない空気感があります。

今年のテーマ

今こそ憲法

～新しい戦前にしないために～

「戦前」という言葉で想起されるのは、単に軍事力の増強だけではありません。戦争を繰り返した過去への反省から、戦争をしない国を作るため、日本国憲法は、民主主義とその前提となる個人の人権の保障を

不可欠な出発点としていたはずですが。国民の意見や議会を軽視した政策決定が繰り返されても十分に報道されず、報道されてももはやそれを見なれた風景として受け入れてしまっていることはないでしょうか。そんな民主主義の機能不全もまた、戦前回帰を止められないのではないかという不安の一つです。

今という時代を戦前としないために私たちに何ができるのか、今ならば引き返すことはできるのか、ともに考えることのできる場となればと思います。

（第一回憲法フェスティバルに寄せられたことは）

木下恵介

せめて、
せめてです。
せめて吾々が
平和憲法を
守り抜かなければ、
愚かな戦争で
死んだ人たちの
魂は
安らかに眠れません。
それが
誓いであり、
手向けです。



出演者プロフィール

加藤 陽子 東京大学大学院人文社会系研究科教授（日本近現代史）

1960年埼玉県生まれ。東京大学大学院博士課程修了（博士 文学）。『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』で第9回小林秀雄賞、『戦争まで 歴史を決めた交渉と日本の失敗』で第7回紀伊國屋じんぶん大賞。

著書に『模索する一九三〇年代』、『昭和天皇と戦争の世紀』、『天皇と軍隊と近代史』などがある。

柳澤 協二 元内閣官房副長官補

1970年、東大法卒・防衛庁入庁。運用局長・人事教育局長・官房長・防衛研究所長などを歴任。2004～2009年、小泉・第1次安倍・福田・麻生政権で内閣官房副長官補（安全保障・危機管理）として、北朝鮮核・ミサイル実験対処、自衛隊イラク派遣などに従事。現在、国際地政学研究所理事長。

主な著書に『官邸のイラク戦争』『亡国の安保政策～積極的平和主義の罫』岩波書店、『非戦の安全保障論』（共著）集英社新書など。

小室 等 シンガーソングライター

日本フォーク界を代表するアーティストで、モダンフォークブームの火付け役。世界歌謡祭では「出発の歌」でグランプリ受賞。今や伝説とも言えるバンド「六文銭」を率いての活動とともに、ソロでの活動も継続中。

猿田 佐世 新外交イニシアティブ（ND）代表/弁護士（日本・米NY州）

沖縄米軍基地問題など外交・政治問題について米議会・政府に対し自ら政策提言活動を行うほか、日本の国会議員や地方公共団体等の訪米行動を実施。研究課題は日本外交。特に日米外交の「システム」や「意思決定過程」に焦点を当てる。

著書に『自発的対米従属（角川新書）』、『新しい日米外交を切り拓く（集英社）』等。

（敬称略50音順）	若松 隆	吉永 小百合	横湯 園子	山田 洋次	松元 ヒロ	前田 輪音	ふじた あさや	野田 正彰	中山 千夏	中村 悟郎	ナーク シク	趙 博	清水 雅彦	澤地 久枝	佐藤 光政	古今亭 菊千代	鎌田 慧	鎌倉 孝夫	金子 勝（憲法）	金子 勝（経済）	大谷 昭宏	小沢 隆一	宇都宮 健児	今宮 謙二	井上 麻矢	石山 久男	石川 逸子	池辺 晋一郎	伊藤 千尋
	2024年（第36回） 憲法フェスティバルに 私たちも賛同します 2024年1月24日現在																												

FAX 03-5213-4151

切り取らないで送信してください

楷書でご記入ください

お名前 _____

〒 _____
ご住所 _____

ご連絡先 _____

□に✓印をつけ、
枚数をご記入ください

□一般 1,800円 (枚)
□障がい者 1,000円 (枚)
□大学生以下 無料 (枚)

※障がい者が参加の場合、付添い1名まで無料

チケット購入は

- ①郵便振替：00170-8-731544「憲法フェスティバル実行委員会」
※ 通信欄にご希望枚数と合計金額をご記入ください
- ②銀行振込：三菱UFJ銀行 春日町支店（普）0979506
憲法フェスティバル実行委員会 会計 北山紀子
※ 銀行振込のあと、お電話・FAXで振込人名・希望枚数・連絡先等
必要事項をお知らせください
- ③電話・FAXでお問い合わせください

■お問い合わせ・チケット販売
憲法フェスティバル実行委員会事務局（TEL・FAX. 03-5213-4151）
南北法律事務所（TEL:03-3511-5748 担当：えんどう）
旬報法律事務所（TEL:03-3580-5311 担当：なみき）